

国立病院機構熊本医療センター

くまびょうNEWS



新たな決意と意思を胸に、
看護の道を歩み始めます。



特集

誓いの式について

- VOICE
- 医学シリーズ 眼科
- くまびょう TOPICS
- 研修医レポート
- 研修のご案内
- 外来担当医名簿

患者さまをお待たせしないためにご紹介は、
外来紹介予約センターをご利用ください。



熊本医療センター
地域医療連携センター長
菊川 浩明



096-353-6565
096-353-6566

FAX 096-353-6563

受付 平日 8:30 ~ 17:00

国立病院機構熊本医療センター 外来紹介予約センター

独立行政法人国立病院機構
熊本医療センター

National Hospital Organization Kumamoto Medical Center



熊本医療センター

検索

ホームページ QR コード

特集 誓いの式について

令和5年11月2日にご来賓の方々、保護者、病院職員が見守る中、誓いの式を執り行うことができました。

今回、誓いの式を迎えた77期生1年生は、熊本医療センター附属看護学校に入学し、半年が過ぎようとしています。授業では、看護の基礎となる専門的な知識を学び、病態を理解することで、患者にとって最善のケアを提供することにつながることを知り、医学・医療の面白さを実感しています。また、授業や見学実習を通し、看護とは何か、寄り添う看護とは何かなど、自分の描いていた看護師像について考え、看護師にとって知識・技術の重要性を実感し、看護技術習得のために、何度も技術の練習を行っています。

これらの学びより、改めて「どのような看護師を目指すのか」「看護師に求められるものは何か」ということを深く考え、誓いのことばを決めました。

誓いのことば

- 一つ 「患者の心と身体を看ることができる看護師」を目指します。
目で観て、手で触れ、耳を傾け、患者の表情に現れる、あらゆる変化を読みとることができる観察力を身につけます。
- 一つ 「患者に誠実に向き合い、価値観を尊重し、患者の力を引き出すことができる看護師」を目指します。
患者を生活者として捉え、その人らしく生活できるようにケアを心がけ、他の医療者とも協力します。患者を励まし、患者の支えとなり、患者の理解者となれるように努めます。
- 一つ 「医療者として責任を持ち、安全安楽なケアを行えるよう、確かな知識技術を備えた看護師」を目指します。
看護師としての役割を果たすため、常に学ぶ姿勢を持ち続けます。

ナイチンゲール像から灯火を手にした学生たちが、この「誓いのことば」を述べ、決意を新たにしました。この強い決意を胸に刻み、仲間と困難を乗り越え、喜びを分かち合い、共に高め合いながら、支えてくれる方々への感謝の気持ちを忘れず、看護の道を歩んでほしいと思います。

看護学校教員

吉竹 あゆ



誓いの式

VOICE

登録医の声



医療法人杉村会
杉村病院

理事長 **すぎむら 杉村** **ゆうすけ 勇輔**



◆ 貴院のアピールをお願いします

新棟が建設され施設を新しく改築しております。スタッフも増員されました。当院の特色である全身血管病を診療するをテーマに心臓疾患、脳神経疾患を中心に2次救急疾患を幅広く受け入れ、2021年、2022年は月間平均200件以上の救急車を受け入れています。社会ニーズの高まるリハビリテーション医療にも力を注いで一つの病院で急性期から回復期まで対応できることも特徴です。熊本の地域医療の一助となるべく日々努めていきたいと考えております。

◆ 先生の趣味・お勧めスポットを教えてください

趣味は体を動かすことでジム通いの他、今年も年間通して当院のスタッフを中心にフットサル、バスケット、ソフトバレー、ソフトボール、チア、逮捕術など様々なスポーツを楽しくチャレンジしレクリエーションとして行っています。スポーツ以外にも釣りや将棋と様ざまなことで多くの人と交流することが楽しみです。お勧めスポットは新しくなった杉村病院新棟であり、ブルーを基調に近未来的な空間が体感できます。

◆ 当院へのご要望をお聞かせ下さい

当院から最も近い基幹病院である貴院にはいつも大変助けられております。2次救急病院として当院で果たせる役割は何かを考え励んでおりますが、3次救急である貴院の支援があってこそ診療が可能です。医療を取り巻く環境も目まぐるしく変化しており、熊本の地域医療には公的・民間機関が協力し合い地域医療を支えていくことが重要と考えております。今後とも温かい御支援や御指導の程、何卒よろしくお願いいたします。



【診療科目】

内科、消化器内科、消化器外科、外科、循環器内科、呼吸器内科、脳神経内科、脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科、糖尿病代謝・内分泌内科、代謝内科

【診療時間】

平日 8:30 ~ 17:30
土曜 8:30 ~ 12:30

【休診日】

土曜日午後、日・祝

【住所】

〒860-0811 熊本市中央区本荘 3-7-18

【TEL】

096-372-3322

【FAX】

096-371-0886



最近のトピックス

飛蚊症と網膜剥離について

国立病院機構熊本医療センター
眼科医師ゆきの
幸野 理久

飛蚊症について

「虫やごみのようなものが
飛んでいるように見える」
「雲のようなものが浮いて
いるよう、墨を流したよう
に見える」

「変な丸が見える」

このような症状がある日突然に、あるいは、いつの間にか現れたことに気付いたら（人によって様々な見え方をするとはいえますが）これがいわゆる飛蚊症です。あらゆる年齢層に見られる症状ではありますが特に高齢者、近視が強い人ほど多くみられると言われています。飛蚊症は多くの場合加齢に伴う生理的なもので心配となることはありませんが、時に重大な病気の兆候の一つとして現れることがあります。



飛蚊症

網膜剥離とは

網膜とは目の奥にある視神経の細胞がたくさん集まったカメラのフィルムの様な役割をする部分です。網膜剥離は加齢や



網膜剥離

糖尿病網膜症といった病気、事故による目の打撲といった外傷が原因で引き起こされます。多くは網膜の一部に小さな穴が開き、そこから眼の中の水が回り込むことであったという間に網膜が剥がれていきます。剥がれた網膜は時間が経つに連れ徐々にその機能を失っていきます。その後で治療をしても視力や視野はあまり回復しないと言われています。放置すると失明につながる重篤な病気ですが、早期の治療によって深刻な視力障害を予防できる可能性が高くなります。近年では治療法の発達により網膜剥離による失明の確率は減ってはいますが早期発見、早期治療が必要なことには変わりありません。比較的早期の症状として飛蚊症があります。その他の自覚症状としては「見えにくい部分がある」（視野障害）、「ものが歪んで見える」（変視症）といったものが挙げられます。

治療

穴が開いて網膜剥離が起きている場合には基本的には手術が必要となります。網膜が剥がれている範囲が狭い場合にはレーザー治療のみでも治療可能な場合もあります。手術では剥がれた網膜を元の位置に戻し、原因となった網膜の穴の周りをレーザーで焼き固め、再び剥がれることがないようにします。網膜剥離が進行している場合は手術をしても視力低下や視野障害、歪みの症状、飛蚊症が改善しない場合もあります。そのため早期発見・早期治療が大切となります。病気が原因ではない飛蚊症や手術が必要ではない網膜剥離もありますが、発症が急激で程度のひどい飛蚊症は緊急手術が必要となることもありますので眼科を受診されることをお勧めします。

くまびょう TOPICS

10/14(土) | ICLS 研修を終えて

医

【筆者】臨床研修医1年：榮永 悠大

令和5年10月14日(土)、当院スキルアップラボセンターにてICLS研修が開始されました。



内容としては午前はスキルセッション、午後はシナリオセッションを行いました。スキルセッションでは、BLS、気道管理、モニター・除細動の復習かつ実践を行い、ICLSを細分化して理解する事ができました。その後シナリオセッションでは午前の内容を踏まえICLSの全体の流れを把握し、各シナリオに対する演習を行いました。その際、講師陣に各シナリオでのフィードバックを行っていただき、回数を重ねるごとにチームワークの向上とICLSに対する理解を深めることができました。今回研修を終えたことでICLSに対する解像度を高めることができたため、今後1人でも多くの患者さまを救えるよう、より一層邁進していきたいと思っております。また今回の研修にあたり、櫻井先生を始めとした研修運営に携わって下さった方々に、この場を借りてお礼申し上げます。

【場所】当院新館6階スキルアップラボセンター

10/31(火) | 「ハロウィン
～手作り濃厚チョコプリン提供～」

栄

【筆者】管理栄養士：佐々木 沙彩

10月31日(火)はハロウィンです。当院では、デザートに力を入れ昼食時に調理師手作りのチョコプリンを提供しました。濃厚なチョコプリンの上にチョコレートソース・ミックスベリーソースをかけて仕上げました。見た目も華やかで患者様にも喜んでいただけました。チョコプリン以外にもミートローフやさつまいもサラダなど一品一品手の込んだメニューになっています。入院期間中にもイベントや季節感を楽しんでいただけるように食事内容も日々工夫しております。



【場所】熊本医療センター



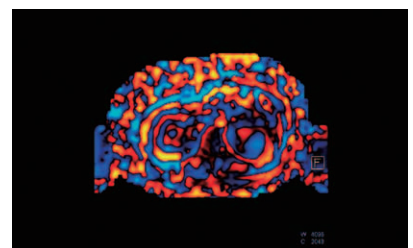
肝 MR エラストグラフィ検査について

当院の1.5T MRI装置（シーメンス社製）にて今年8月より肝MRエラストグラフィ検査を行っています。

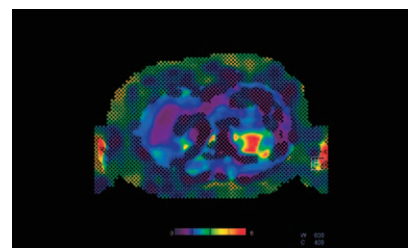
肝MRエラストグラフィ検査では、非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）の中で鑑別が重要である非アルコール性脂肪肝炎（NASH）の脂肪変性、繊維化を低侵襲な方法で評価することができます。NASH鑑別のゴールドスタンダードである肝生検に代わる検査として期待されており、体表面から振動を与え、波の伝わり方をMRI装置で画像化することで、肝臓の硬さの違いを測定し、肝線維化進行度合いを評価します。

造影剤を使用せずに検査を行えるため、喘息などのアレルギーのある方も検査可能です。20分ほど臥床可能で、15秒の息止めをすることができる患者さまであれば撮像することができます。ご不明な点などございましたら、放射線科までお問い合わせください。

特殊撮影主任 木山 量平



波の伝播状況を示す wave 画像



肝線維化進行度を示す stiffness 画像

Medical Intern Report 研修医レポート

臨床研修医

かわぐち しん
川口 晋



こんにちは。研修医1年目の川口晋と申します。この春に九州大学を卒業し、4月より熊本医療センターにて初期臨床研修をさせていただいております。研修が始まって半年経ち、業務内容もひとまず身に付いて落ち着いて医学と向き合える時期になりました。患者さまへのより良い医療の提供のために日々精進していこうと思います。

私の研修は神経内科から始まりました。やはり学生の頃の勉強と実際の臨床現場では求められるものが異なることが多く、初めは大いに戸惑うことばかりでした。特に大きく異なると感じたのは、患者さまの存在がより身近になる点です。例えば医学的に推奨される治療があれば、学生であればその選択肢を回答して終わりでした。しかし実際の現場では、患者さま

にその治療をわかりやすく説明したり、同意をもらったり、治療の後も患者さまに会いに行き治療の効果や合併症を確認したりと気を配らなければならないことが多くあります。私が初めて脳梗塞の患者さまの治療に当たった際には、説明が支離滅裂になってしまったり、バレー徴候や反射試験などの身体診察が客観的にできなかつたりと診療に難渋していました。しかし経験を積んだ先生方やコメディカルの方々の手厚い指導やフォローのおかげで臨床ならではの知識やノウハウを学び、無事乗り切ることができました。恵まれた環境でのびのび研修できることのありがたさを痛感しています。

その後の研修や救急対応業務でも周囲の方々に助けられながら楽しく悪戦苦闘しております。今度は自分が周囲の人を支えられるように、ひいては質の高い医療のためにこれからも研鑽を積んでいきたいと思っております。2年間どうぞよろしくお願いたします。

臨床研修医

まつおか なおき
松岡 直樹



こんにちは。研修医1年目の松岡直樹と申します。熊本大学医学部を卒業し、4月から熊本医療センターで勤務を開始してから早くも半年が過ぎました。最初は電子カルテやオーダーの仕方にも慣れずわからないことばかりでしたが、半年間働く中で徐々に慣れてきたように感じます。しかし実臨床の現場に立ち、まだまだ知識不足などを強く感じています。

私は入職後腎臓内科から始まり外科、小児科、精神科、産婦人科を回り、現在は麻酔科にて研修中です。麻酔科では挿管やルート確保、麻酔管理はもちろんのこと、各診療科の手術を目にすることができ、充実した日々を過ごしております。薬剤の使い方や輸液、人工呼吸器など医師として必要な知識を日々学んでいます。また週1回程度、時間外の救急外来業

務にも携わらせていただいております。救急外来では比較的診断がつけやすい疾患から複雑な病態のもの、早急な対応が必要な疾患など幅広い症例の初期診療をさせていただき大変な面もありますが得るものも多くやり甲斐を感じています。

半年を振り返って感じることは、スタッフ間のコミュニケーションの重要性です。学生の頃のチーム医療という言葉は知っていましたが、働き始めてより報告・連絡・相談が大事だと実感しました。より一層コミュニケーションを取れるように院内スタッフの方々と良好な関係性を築いていければと思います。

将来一人前の医師となり患者さまの力になれるよう精一杯頑張っていく所存ですのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。2年間どうぞよろしくお願いたします。

2023年12月 研修のご案内

熊本大腿骨近位部骨折
シームレスケア研究会

日時▶12月5日(火) 19:00～20:00
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

二の丸モーニングセミナー

日時▶12月7・14・21・28日(木) 8:15～8:45
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

公開肝臓病教室

日時▶12月10日(日) 14:00～16:00
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

もっと知りたい肝臓の話 ～肝臓で広がる地域の和～

- (1)「肝臓病の最近の話題」
- (2)「ウイルス肝炎と進行肝がんの治療薬」
- (3)「肝臓病患者の生活と注意点」
- (4)「肝臓病と栄養」

【定員】 150名

【申込方法】 申込先に電話で参加される方の氏名、連絡先をお知らせください

【申込期限】 令和5年12月7日(木) 17:00まで

【申込先】 熊本医療センター研修センター事務局 TEL:096-353-3515

★当日は無料で、B型肝炎とC型肝炎の検査を受けられます。

➡希望される方は、事前申込が必要です

※肝臓病の治療を受けている方、予定されている方、または肝臓病に関心のある方は本人、家族、知人を問わず、どなたでも参加できます。

第67回 診断と治療－最新の基礎公開講座－
[日本医師会生涯教育講座2.5単位認定]

日時▶12月16日(土) 15:00～17:30
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

「CKDの最前線」

座長 山鹿中央病院 理事長

水足 秀一郎 先生

(1) CKD 看護

国立病院機構熊本医療センター透析看護認定看護師 / 副看護師長

深山 美香

(2) 慢性糸球体腎炎の最前線～今後の新しい展望について～

国立病院機構熊本医療センター副診療部長 / 腎臓内科部長

梶原 健吾

(3) CKD 診療ガイドライン 2023 改定のポイント

熊本大学病院地域医療連携ネットワーク実践学寄附講座・特任准教授 泉 裕一郎 先生

第297回 月曜会(内科症例検討会)
[日本医師会生涯教育講座 1.0 単位認定]

日時▶12月18日(月) 19:00～20:00
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修室 2

- 1 感染症内科からの一例
- 2 糖尿病・内分泌内科からの一例

研修へのお問い合わせはこちら

国立病院機構熊本医療センター

地域医療研修センター (096) 353-3515 (直通)

研修センター

QRコード▶



患者さまをお待たせしないために

ご紹介は、外来紹介予約センター

受付 平日 8:30 ~ 17:00

をどうぞご利用ください。

096-353-6565 096-353-6566

FAX 096-353-6563



熊本医療センター
地域医療連携センター長
菊川 浩明

令和5年12月外来担当医名簿

国立病院機構熊本医療センター



診療科		月	火	水	木	金	
総合医療センター (内科)	総合診療	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	
	血液	河北 敏郎 杉谷 浩規	原田 奈穂子 中村 貴久	古川 翔大 井上 佳子	日高 道弘 河北 敏郎	原田 奈穂子 窪田 晃	
	糖尿病・内分泌	西川 武志 (午前新患) 西田 周平 (午前再診)	西田 周平 (午前新患) 西川 武志 (午前再診)	西川 武志 (午前新患) 井手口 拓弥 (午前再診)	木下 博之 (午前新患) 最勝寺 英美 (午前再診)	井手口 拓弥 (午前新患) 木下 博之 (午前再診)	
	呼吸器センター	名村 亮 原 英記 (院内コンサルト)	小野 宏 熊大医師 (院内コンサルト)	小野 宏 原 英記 (院内コンサルト)	名村 亮 原 英記 (院内コンサルト)	小野 宏 原 英記 (院内コンサルト)	
	感染症内科		小野 宏	小野 宏		小野 宏	
	腎センター (腎臓内科)	梶原 健吾	吉井 隆一	中村 朋文	東 大樹	富田 正郎	
	腫瘍内科		榮 達智	榮 達智 磯部 博隆	境 健爾 (第1・第3・第5木曜のみ)	榮 達智	
消化器病センター (消化器内科)	診察	1 診	石井 将太郎	杉 和洋	杉 和洋	杉 和洋	向坂 健佑
		2 診	松山 太一	中田 成紀	石井 将太郎	松山 太一	中田 成紀
		3 診	山本 祐弥	向坂 健佑	佐々木 大堯	楠本 周平	佐々木 大堯
	内視鏡	午前	中田 成紀 向坂 健佑 佐々木 大堯	松山 太一 佐々木 大堯 祐弥	松山 太一 山本 祐弥 楠本 周平	中田 成紀 石井 将太郎 向坂 健佑	石井 将太郎 山本 祐弥 楠本 周平
		午後	中田 成紀 向坂 健佑 山本 祐弥 楠本 周平	石井 将太郎 松山 太一 山本 祐弥 楠本 周平	中田 成紀 松山 太一 山本 祐弥 楠本 周平	中田 成紀 石井 将太郎 向坂 健佑 佐々木 大堯	石井 将太郎 松山 太一 山本 祐弥
腹部超音波	杉 和洋	楠本 周平	向坂 健佑	山本 祐弥	杉 和洋		
心血管センター (循環器内科)	新患	木村 優一 山村 智	奥野 佑樹 (隔週) 玉野井 俊介 (隔週)	片山 哲治	田山 信至	藤本 和輝	
	再来	田山 信至	藤本 和輝	山村 智	奥野 佑樹 玉野井 俊介 友宏	片山 哲治 木村 優一	
(心血管外科)		手術日	岡本 健	田中 睦郎	手術日	岡本 健	
精神・神経科	初めての方						
	2回目からの方						
小児科	診察	水上 智之	渡邊 優	水上 智之	水上 智之	渡邊 優	
	免疫	水上 智之		水上 智之	水上 智之		
	血液	右田 昌宏		横山 智美		右田 昌宏	
	アレルギー		渡邊 優		緒方 美佳		
外科		東 孝暁 日高 香織 (隔週)	水元 孝郎 松本 克孝 中村 健一	岩上 志朗	宮成 信友 松石 梢	久保田 童生 丸野 正敬	
	脳神経センター (脳神経外科)	中川 隆志 大塚 忠弘	手術日	田嶋 恒三 大塚 忠弘	中川 隆志	伊東山 剛 大塚 忠弘	
(脳神経内科)	1 診	幸崎 弥之助	田北 智裕	高松 孝太郎	小阪 崇幸	津田 幸元	
	2 診	高松 孝太郎	小阪 崇幸	津田 幸元	幸崎 弥之助	田北 智裕	
	院内コンサルト	津田 (麻)	津田 (麻)	津田 (麻)	津田 (麻)	津田 (麻)	
整形外科	午前	福元 哲也 福田 和昭 寺本 周平	手術日	福元 哲也 前田 智 福田 和昭	手術日	前田 智 中馬 東彦	
	午後	福元 哲也 福田 和昭 寺本 周平		大島 慶久		満瀬 葉介 中馬 東彦	
泌尿器科	前田 喜寛 矢野 大輔	菊川 浩明 智洋 栄敏 村上 栄敏	担当医 (手術日) (紹介のみ)	前田 喜寛 矢野 大輔 東 俊之介	高橋 菊川 えりか / 担当医		
産婦人科	高木 みか 瀬尾 優太郎	山本 直 坪木 純子	手術日	高木 みか 瀬尾 優太郎	山本 直 坪木 純子		
感覚器センター (眼科)	榮木 大輔 幸野 理久 中西 美穂	(手術日)	榮木 大輔 幸野 理久 中西 美穂	(手術日)	榮木 大輔 幸野 理久 中西 美穂		
感覚器センター (耳鼻咽喉科)	手術日	上村 尚樹 寺田 夕希	手術日	担当医	上村 尚樹 寺田 夕希		
感覚器センター (皮膚科)	初診 (紹介あり)	中原 智史	牧野 公治	石橋 卓行	担当医 (手術日)	哈 斯塔 (ハスタ)	
	再診 (初診その他)	中原 智史 石橋 卓行	牧野 公治 哈 斯塔 (ハスタ)	中原 智史 石橋 卓行		牧野 公治 哈 斯塔 (ハスタ)	
難治性皮膚疾患治療センター	月・水・木のみ、午前10時～、1日1例限定 詳細は、熊本医療センター皮膚科 Web サイトをご覧ください。						
形成外科	(午後)	大島 秀男 (リンパ浮腫外来)	(午後)	担当医 (紹介のみ)	(午後)	(午後)	
	東野 哲志 堺 菜穂 蓮田 敏也			大島 秀男 東野 哲志 堺 菜穂 蓮田 敏也	大島 秀男 堺 菜穂 蓮田 敏也		
放射線科	治療 (予約制)	富高 悦司、吉村 文博					
画像診断	根岸 孝典、浅尾 千秋、伊藤 加奈子、井上 聖二郎、神戸 あゆみ、吉村 文博、吉松 俊治						
麻酔科	宮崎 直樹 (術前診察 / 麻酔相談)					(午前のみ) 瀧 賢一郎 (麻酔相談)	
緩和ケア外来	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆		
歯科 口腔外科	中島 健 谷口 広祐 天本 晋輔 上田 夏野	中島 健 (隔週) 谷口 広祐 中尾 美文 (隔週) 天本 晋輔 上田 夏野	谷口 広祐 中尾 美文 天本 晋輔 上田 夏野	中島 健 谷口 広祐 天本 晋輔 上田 夏野	中島 健 谷口 広祐 中尾 美文 天本 晋輔		
	櫻井 聖大 渋谷 崇行 橋本 聡 松本 克孝 國友 耕太郎 吉村 文孝 深水 浩之 大樹 寛之	櫻井 聖大 渋谷 崇行 橋本 聡 國友 耕太郎 久保崎 順子 深水 浩之 大樹 寛之	櫻井 聖大 渋谷 崇行 橋本 聡 松本 克孝 深水 浩之 木村 文彦 杉野 大樹 大本 寛之	櫻井 聖大 渋谷 崇行 橋本 聡 松本 克孝 深水 浩之 大樹 寛之	櫻井 聖大 渋谷 崇行 橋本 聡 深水 浩之 宮内 大介 杉野 大樹 大本 寛之		
救命救急センター							
看護外来	ストーマ	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	
	がん看護	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	
	移植後フォローアップ	担当看護師	担当看護師	担当看護師	担当看護師	担当看護師	

(注) 担当医は都合により変更することがあります。 手術日はお待たせする場合がございますので、御了承ください。

R5/12/1